

公共事業等施行状況調（令和2年12月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (12月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		2年度 C	C/A	元年度 D	D/B	
		2年度	元年度	2年度 A	元年度 B					
1	治山・治水	26,588	24,947	17,932	15,249	13,355	74.5	12,755	83.6	
2	農林・水産	34,442	30,007	26,806	22,139	21,000	78.3	16,784	75.8	
3	道 路	56,264	53,779	35,220	31,854	30,049	85.3	25,250	79.3	
4	港湾・空港	6,938	5,790	3,712	2,665	2,650	71.4	2,343	87.9	
5	下水道・公園	8,551	6,143	2,314	3,550	2,035	87.9	3,124	88.0	
6	住 宅	2,090	1,738	1,680	1,099	1,364	81.2	1,027	93.4	
7	庁 舎	1,320	744	1,197	603	718	60.0	549	91.0	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	14,181	8,063	11,509	6,843	3,652	31.7	2,312	33.8	
11	工業用水・上水道等	1,042	1,242	89	148	80	89.9	113	76.4	
12	災害復旧	190	129	132	15	127	96.2	15	100.0	
13	その他	11,435	7,951	8,056	4,625	6,068	75.3	2,850	61.6	
	計	163,043	140,533	108,648	88,790	81,098	74.6	67,123	75.6	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和2年12月末）

（単位：社、件、百万円、％）

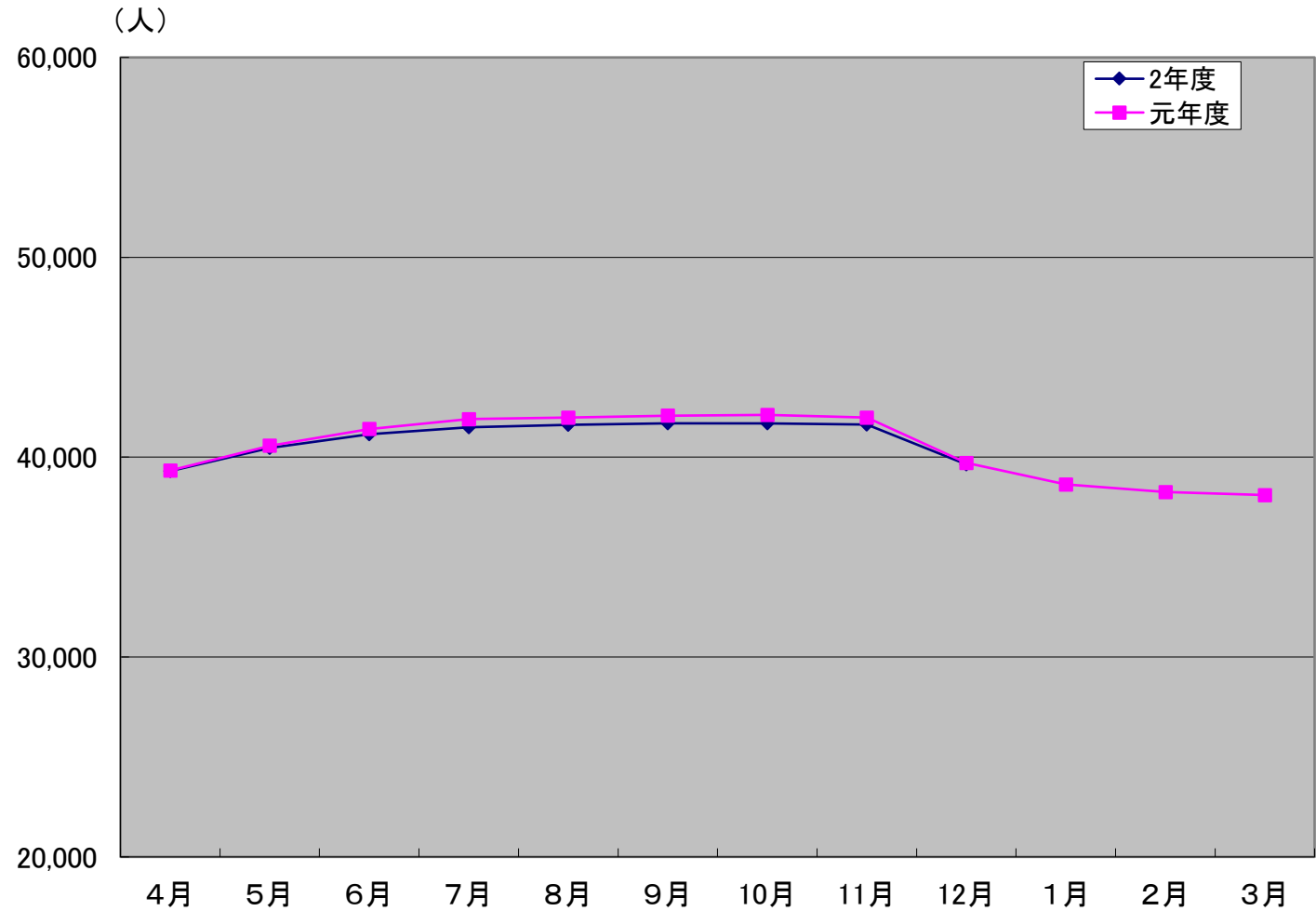
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
2年度	163,043	108,648	25,571	2,503	81,098	24,904	2,390	70,455	557	85	4,039	110	28	6,604
					B/A 発注率 74.6	C/B 97.4			D/B 2.2			E/B 0.4		
前年度比	116.0	122.4	103.4	104.2	120.8	103.6	104.3	115.6	93.1	93.4	143.2	119.6	147.4	197.7
元年度	140,533	88,790	24,737	2,402	67,123	24,047	2,292	60,963	598	91	2,820	92	19	3,340
					B/A 75.6	C/B 97.2			D/B 2.4			E/B 0.4		

被保険者数

	2 年 度	元 年 度
4月	39,303	39,329
5月	40,467	40,575
6月	41,148	41,411
7月	41,492	41,898
8月	41,611	41,985
9月	41,687	42,080
10月	41,689	42,115
11月	41,636	41,978
12月	39,646	39,712
1月		38,636
2月		38,252
3月		38,104

前月末被保険者数	41,636
資格取得者数	391
資格喪失者数	2,379
転入者数	1
転出者数	3
今月末被保険者数	39,646

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)12月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年1月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の11月の販売量は3万9トン(セメント協会調べ)で前年同月比2.8%の減少。普通ポルトランド(バラ)でトン当たり13,400円と前月比変わらず。メーカー各社は、値上げ積み残し分の浸透に向け需要家との交渉を継続。しかし、主な需要家である生コンメーカーは、製品輸送および廃棄物処理に係るコストの増加が経営を圧迫しているとして、値上げに難色を示している。価格の本格交渉にはしばらく時間を要する見込み。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品	○			○			○			○			○			○			○			○			商いは閑散としており、需要は盛り上がり欠く展開が続いている。年度末にかけても需要増は期待薄との見方が強い。需要低迷により需要家の購入姿勢は厳しさを増しているが、メーカー各社は、輸送コスト上昇などを理由に、値下げ要求には応じない姿勢。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
生コンクリート	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の12月の出荷量は5万3千m3(生コン工組調べ)で前年同月比13.1%の増加。一部の地域では風力発電の基礎工事や消波ブロック製作工事向けの出荷が好調である。需要家の購入姿勢は厳しいものの、好調な出荷量を背景に現行価格の維持に努めている。先行き、横ばい推移の見通し。
砕 石	○			○			○			○			○			○			○			○			荷動きは精彩を欠いており、一部のメーカーは、需要減少下での生産設備更新費用の確保や人件費上昇を理由とする値上げの交渉を続けている。しかし、主たる需要家である生コンメーカーは、値上げには難色を示しており、交渉は難航している。先行き、横ばいの公算大。
小 棒	○			○			○			○			○			○			○			○			SD295A・D16でトン当たり74,000円と前月比6,000円の上伸。原料である鉄スクラップの価格は、海外での需給ひっ迫を背景とし大幅に上昇した。メーカー各社は採算悪化に対する危機感を一層強め、相次いで販売価格を大幅に引き上げた。需要家は急激な値上げに難色を示したが、流通筋も強い売り腰で販売価格の見直しに動いたことで、値上げ額の一部が浸透した。メーカー、流通筋ともに、採算確保のため、今後も強い販売姿勢を維持する構え。目先、強含みの公算が大きい。
アスファルト	○			○			○			○			○			○			○			○			12月の県内出荷量は6万6千トン(合材協会調べ)で前年同期比4%の減。復興道路関連工事の需要がピークアウトし、その後に続く大型案件がなかったことで、出荷量は減少している。こうしたなか、需要家の値下げ要求は強いものの、メーカー各社は、出荷量減少による固定費率の上昇に加え、ストアス価格上昇による採算悪化を理由に、現行価格の維持に努めている。先行き、横ばいの公算大。
木 材	○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり98,000円と前月比変わらず。11月の県内新設住宅着工戸数は570戸で前年同月比14.9%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比3.6%の減少、それに次ぐ貸家が前年同月並みだったが、分譲住宅が同126.7%増加と大幅に伸びた。感染症拡大に伴う経済の不透明感が強まるなか、全国の新設住宅着工戸数が17カ月連続で減少するなど、建築用木材の需要は依然低調に推移している。流通業者は、現行価格による販売を継続する姿勢。目先、横ばいの見込み。
油 類	○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり93円、重油はローリー渡りで54円と共に前月比3円の上伸。英国や米国などで新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が始まったことで早期収束の期待が広がり原油相場が上伸。これを受け元売り各社は仕切価格を引き上げ、流通筋も追従した。足元では主要産油国による減産継続が決定。サウジアラビアは独自に追加減産を表明するなど、需給引き締まりの期待から市場では先高観が広がっている。目先、強含みの見込み。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,250円と前月比変わらず。昨年11月の輸入合板入荷量は15万6千m3(財務省調べ)で前年同月比28.2%の減少。産地における原木不足や輸送船舶のひっ迫などが続いており、入荷量水準の回復が遅れている。市中在庫の減少が進むなか、流通筋は仕入れ高を理由に値上げを打ち出しているが、年末年始休をはさみ引き合いが少なく、交渉は進展していない。今後の品薄感がさらに強まる見込みで、値上げの動きが拡大しそう。目先、強含みの見通し。
形 鋼	○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり84,000円と前月比6,000円の上伸。主原料である鉄スクラップの価格急騰を受け、主力電炉メーカーは大幅な値上げを表明した。流通筋は、採算悪化の回避に向けて値上げ交渉を実施。鉄骨需要が低迷するなかでの値上げに需要家の抵抗も見られたが、流通筋の売り腰は強く、急ピッチで値上げが浸透した。メーカー各社は原料価格の先高観に対し警戒感を抱き、今後も強い販売姿勢を堅持する構え。目先、強含みの公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年1月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,100	0.0	3,400	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	101,000	3.1	101,000	3.1	101,000	3.1	101,000	3.1	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	74,000	8.8	74,000	8.8	74,000	8.8	74,000	8.8	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	74,000	4.2	74,000	4.2	74,000	4.2	74,000	4.2	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	93.0	3.3	93.0	3.3	93.0	3.3	93.0	3.3	93,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	54.0	5.9	54.0	5.9	54.0	5.9	54.0	5.9	54,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,250	0.0	1,250	0.0	1,250	0.0	1,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	84,000	7.7	84,000	7.7	84,000	7.7	84,000	7.7	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

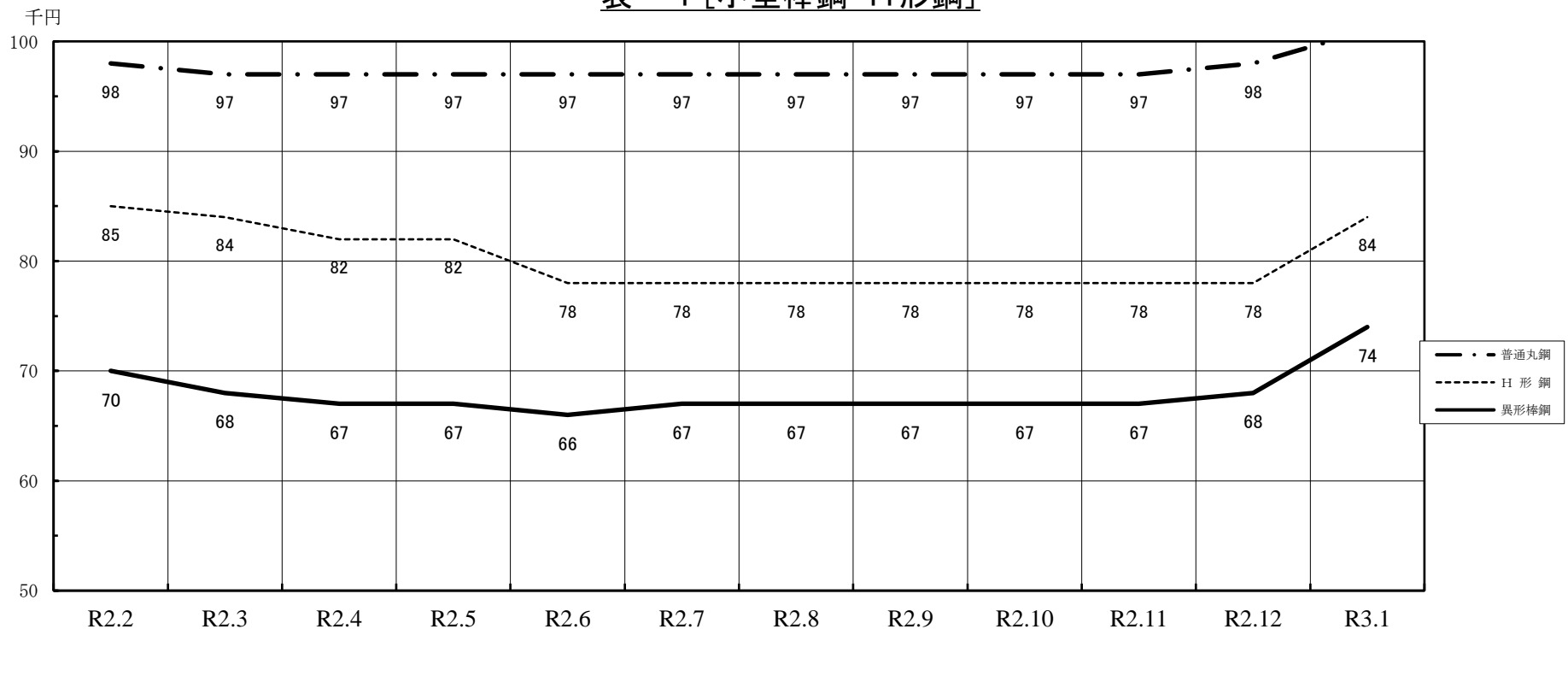


表-2 [セメント・生コン]

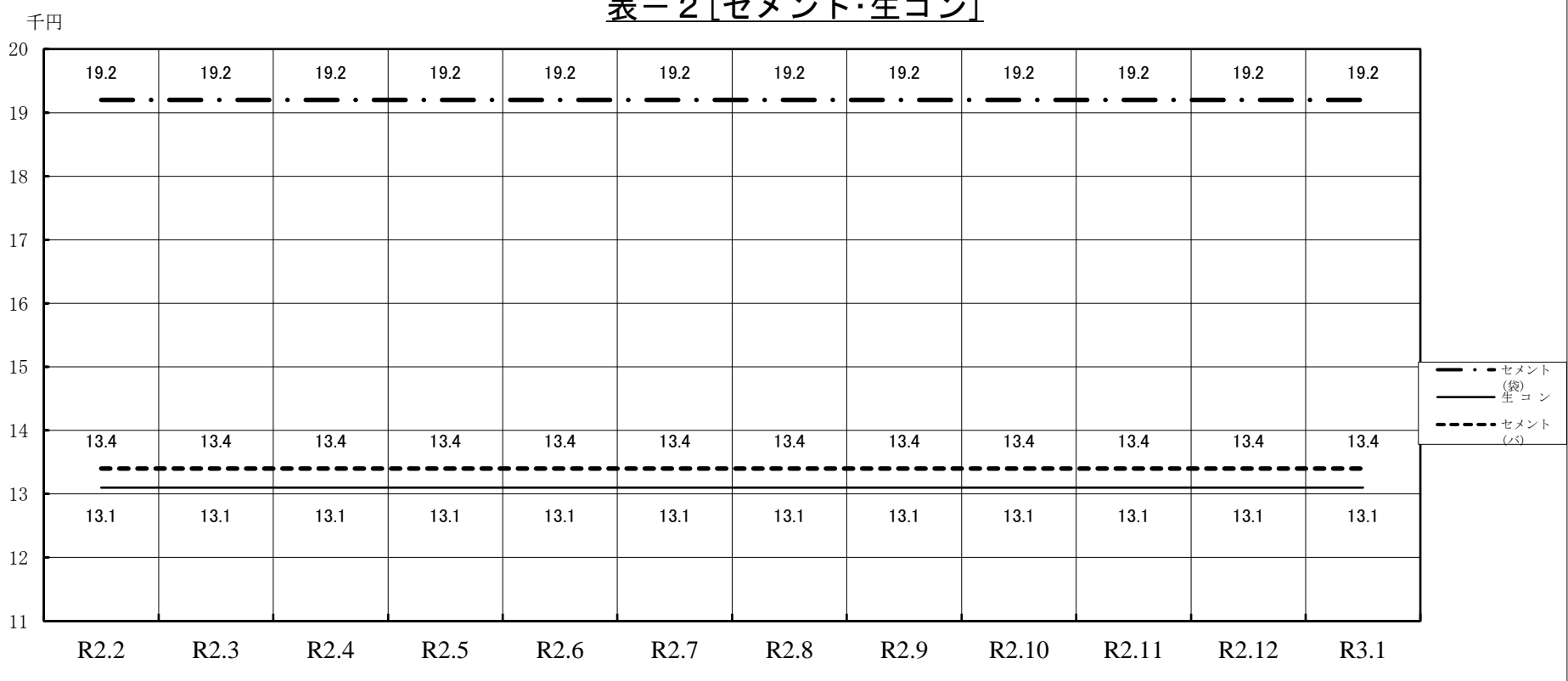


表-3 [骨材]

